



ラムサール条約ってどんな条約？

一般に「ラムサール条約」として知られる「国際的に重要な湿地に関する条約」は、湿地の保全と賢明な利用（ワイズユース）を推進する条約です。単一の生態系に焦点を当てている唯一の地球規模の条約です。



1971年に条約の調印が行われたイランの都市ラムサールにちなんで名付けられたこの条約の締約国は、現在168か国となっています。締約国はこの条約を通して、次のことを積極的に行います。

- 自国にあるすべての湿地を賢明に利用する
- 国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地を登録し、それらの湿地を保全する
- 国境をまたぐ湿地や他国と共有するその他の権益に関して協力する

2015年4月現在、ラムサール条約湿地は2100か所以上にのぼり、その総面積はメキシコの国土よりわずかに大きい2億800万ヘクタールあまりです。ラムサール条約湿地の公式リストは条約のウェブサイトwww.ramsar.orgで公開されています。

ラムサール条約湿地は、その湿地がもたらす生態系サービスと恩恵が、それぞれの国と世界にとって大きな価値を持っていることから登録されています。

湿地とは何か？

ラムサール条約では、「湿地」という言葉は、常時あるいは季節的に、水をたっぷりと含む土地や水に覆われる土地を指します。内陸の湿地としては、帯水層、湖沼、河川、湿原、泥炭地、池、氾濫原、沼沢地などが挙げられます。沿岸域の湿地には、すべての海岸線、マングローブ、塩性湿地、河口、潟湖、藻場、サンゴ礁などが含まれます。

なぜ湿地を大切にしなければならないのか？

昔から不用の地あるいは病気の温床とみなされてきた湿地ですが、実際には、多くの理由から人々にとってなくてはならないものです。

- **真水を供給します**
淡水の湿地は、私たちの日常生活に必要な飲料水や料理、洗濯用の水をもたらす、灌漑用水も供給します。
- **食物をもたらします**
湿地のひとつである水田で栽培される米は、30億近くの人々の主食であり、世界の食糧の20%を占めます。
- **自然の緩衝材です**
河川の流域にある湿地は、自然のスポンジのような働きで雨水を吸収して洪水の影響を緩和し、水を貯えるというこの機能は、干ばつへの備えにもなります。マングローブやサンゴ礁は、高潮のスピードと高さ、津波やハリケーンの衝撃を抑えます。
- **生物多様性にとってなくてはならないものです**
湿地には、現在わかっているだけでも10万種以上の淡水生物が生息しており、この数は今も増加しつつあります。湿地は多くの両生類の生息地として、また、鳥類の繁殖地や渡りの中継地として欠かせません。
- **持続可能な生産とくらしを作り出します**
6億6000万以上の人々が、漁業と水産養殖によって生計を立てています。湿地はまた、建築用材、植物油、薬用植物、織物原料、家畜飼料を供給します。



急速に消えていく湿地

最近の推計では、1900年以来、世界の湿地の64%以上が失われたとされています。湿地の劣化と減少の主な原因には次のようなものがあります。

- 土地利用の大きな変化、特に農地と放牧地の増加
- ダムや水路、運河などによる水の流れの改変
- インフラ開発、特に都市や川の流域、沿岸部における開発

ラムサール条約湿地はどのように登録されるのか？

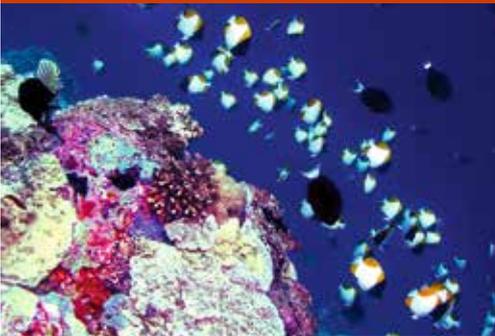
条約の科学的基準を満たす湿地が、その重要性について慎重に検討された上で、各国のラムサール条約の管理当局により、ラムサール条約湿地として登録されます。

ラムサール条約：湿地の減少と劣化を防止・阻止して湿地を回復させるために

ラムサール条約は、締約国、パートナー、国際団体パートナー (IOP) と協力しながら、次のことを行います。

- 湿地に関する問題を組み入れた政策立案や土地利用計画の作成を奨励します
- 湿地がもたらす恩恵やサービスの大切さを人々に伝えます
- ダノン・エビアンやスターアライアンスなどの民間部門と連携して普及啓発への相当な投資を確保します
- 驚くべき速さの湿地の減少と劣化を食い止めるため、民間部門と公共部門の連携を促進します
- 湿地の保全と管理のための資金を調達します

人々の暮らしを支えるラムサール条約湿地



フィリピン トゥバタハ・リーフ自然海中公園

- ラムサール条約湿地かつユネスコ世界遺産に指定されているこの公園では、入園者から環境保護費を徴収し、保護区の管理、禁漁区設置に対する漁業者への補償、地域社会の生活向上プロジェクトのための資金などに活用しています。サンゴ礁の損傷を防ぐため、スキューバダイビングができる区域は限定されます。



ケニア ナクル湖

- ナクル湖はケニアを象徴する観光地のひとつです。毎年24万5000人の観光客がここを訪れますが、そのうちの60%が外国人観光客です。外国人観光客には80米ドルの入園料が課せられますが、ケニア国民にはそれよりも安い11米ドル相当の入園料を設定しています。2010年の総収入は840万米ドル近くにのぼり、公園管理に役立てられました。そして、この中から毎月4万2000米ドルが、地域の保全活動費として還元されています。



アルゼンチン イベラ湿地帯

- 年間およそ1万7000人の観光客がここを訪れているおかげで、コロニア・カルロス・ベレグリニという町に近いラムサール条約湿地周辺では、地域経済が活性化し、環境保護をベースとした観光業が成立しています。これによって新たな雇用と多様な生計獲得手段が生み出されており、地域住民の約90%が観光業で生計を得たり、周辺コミュニティが自然散策路建設や観光ガイド養成にかかわる支援を受けています。

本文書に表明されている見解や名称は執筆者によるものであり、ラムサール条約や条約事務局の公式の見解を表すものではない。教育または非営利の目的での、本文書の全体あるいは一部の複製はいかなるかたちでも、引用元を明示すれば著作権保有者の特別な許可なく作成して構わない。条約事務局は、本文書を引用した印刷物や資料の送付を歓迎する。特に記載のない限り、本文書はクリエイティブコモンズの表示・非商用・改変禁止ライセンスによって保護されている。



ラムサールファクトシートは、ラムサール条約事務局より電子フォーマットおよび必要に応じて印刷物として、英語、フランス語、スペイン語(ラムサール条約の3つの公式言語)で公開されています。

ラムサールファクトシートは次のサイトからダウンロードできます：
www.ramsar.org/resources

科学技術検討委員会 (STRP) に関する情報は次のサイトで見ることができます：

www.ramsar.org/about/the-scientific-technical-review-panel

ラムサールファクトシートに関するさらなる情報や、ファクトシートの執筆者と連絡を取る方法を知りたい場合は、ラムサール条約事務局 (stp@ramsar.org) までお問合せください。

© 2015 ラムサール条約事務局

ラムサール条約



一般にラムサール条約として知られる「国際的に重要な湿地に関する条約」は地球規模の政府間条約で、湿地と湿地資源の保全と賢明な利用のための国内行動と国際協力の枠組みを提供するものです。単一の生態系に焦点を当てている唯一の地球規模の条約です。